

7

河川名

みかさかわ

御笠川水系

御笠川

特徴・アピールポイントなど

復旧にあたっては、ワークショップ形式による地域の意見を聞きながら整備を進めました。



平成15年7月19日の集中豪雨は御笠川流域に大きな被害をもたらしました。各地で浸水被害が発生し、平成11年6月29日豪雨の時を上回る甚大な被害となりました。

JR博多駅周辺においては、ビル等や地下街が浸水し、地下鉄の一部が不通になるなど、平成11年6月29日豪雨に続く都市型水害となりました。

降雨と被害状況

	平成11年6月29日洪水	平成15年7月19日洪水
降雨 (太宰府観測所)	77mm/h (累計193mm)	99mm/h (累計361mm)
氾濫面積	約327ha	約397ha
家屋等被害	2,576戸	4,237戸

被害状況



博多駅周辺の浸水状況



地下鉄博多駅構内の浸水状況(H15.7.19読売新聞西部本社撮影)



被害状況(東那珂三丁目)



博多駅周辺の出水状況

災害からの復旧で環境に配慮した事例

平成11年6月と平成15年7月の二度にわたり大きな浸水被害が発生した御笠川では、河川激甚災害対策特別緊急事業などにより整備されました。

御笠川の河川整備にあたっては、治水安全度を確保した上で、地域に愛され親しまれる御笠川となるよう、ワークショップ形式により沿川の学校の子もたちや地域の方々に広く意見を聞きしました。

御笠川にある水辺の遊歩道、階段などの一部はワークショップでのご意見・アイデアにもとづいて整備しました。

御笠川激特事業の工程管理においては、治水効果をより早く発揮することを目的として、平成16年度よりプロジェクトマネジメント (PM) 手法を導入しました。

ワークショップの様子



御笠の森小学校の河川見学



月隈小学校



整備後



水際の工夫



魚の休息所



水辺の広場